

令和2年4月30日

赤穂市長 牟礼正稔様

公益財団法人赤穂市文化とみどり財団

理事長 豆田正明



令和元年度 赤穂市文化会館の事業報告について

赤穂市文化会館指定管理者管理運営基準に基づき、令和元年度管理委託に係る事業について別紙のとおり報告いたします。



文化施設の利用状況

文化会館

令和元年度文化会館施設使用状況

平成31年4月1日～令和2年3月31日 開館日数 303日

区 分	利用可能		午 前		午 後		夜 間		合 計				
	日 数	区分数	使用区分	使用率%	使用区分	使用率%	使用区分	使用率%	使用区分	使用率%	使用日数	利用率%	入場者数
大 ホール	286	858	57	19.9	64	22.4	105	36.7	226	26.3	132	46.2	30,906
小 ホール	286	858	99	34.6	112	39.2	81	28.3	292	34.0	136	47.6	24,889
展 示 室	303	909	96	31.7	107	35.3	76	25.1	279	30.7	112	37.0	9,321
学 習 室	303	909	77	25.4	109	36.0	80	26.4	266	29.3	148	48.8	6,672
和 室	303	909	84	27.7	101	33.3	44	14.5	229	25.2	136	44.9	1,144
リハーサル室	303	909	128	42.2	95	31.4	168	55.4	391	43.0	227	74.9	10,880
練 習 室 1	303	909	195	64.4	142	46.9	143	47.2	480	52.8	247	81.5	6,101
練 習 室 2	303	909	205	67.7	188	62.0	161	53.1	554	60.9	269	88.8	4,837
合 計	2,390	7,170	941	39.4	918	38.4	858	35.9	2,717	37.9	1,407	58.9	94,750

(照明工事のため、大ホールは令和2年2月10日～2月29日、小ホールは令和2年1月13日～2月1日まで使用休止となった。)

<入場者数>

貸館による入場者数 88,334 人

自主事業による入場者数 6,416 人

小計 94,750 人

市民ロビー入場者(ロビーコンサート) 423 人

合計 95,173 人

令和元年度文化会館施設別ジャンル別使用状況

平成31年4月1日～令和2年3月31日

区 分	大ホール		小ホール		展 示 室		学 習 室		和 室		リハーサル室		練習室1		練習室2		合 計	
	日数	割合%	日数	割合%	日数	割合%	日数	割合%	日数	割合%	日数	割合%	日数	割合%	日数	割合%	日数	割合%
音 楽 会	21	15.9	24	17.6							16	7.0					61	4.3
大会・集会・式典	8	6.1	13	9.6													21	1.5
研修会・講演会	1	0.8	6	4.4	6	5.4	43	29.1									56	4.0
邦 舞 ・ 邦 楽	3	2.3	1	0.7													4	0.3
洋 舞			6	4.4													6	0.4
演 劇	3	2.3	1	0.7													4	0.3
古典芸能等	4	3.0	3	2.2													7	0.5
映 写 会			1	0.7			1	0.7									2	0.1
展 示 会			18	13.2	65	58.0	10	6.8									93	6.6
会 議							18	12.2	3	2.2	4	1.8	29	11.7	21	7.8	75	5.3
リハーサル	82	62.1	47	34.6							10	4.4					139	9.9
茶 会																		
教 室									95	69.9	185	81.5	148	59.9	215	79.9	643	45.7
そ の 他	10	7.6	16	11.8	41	36.6	76	51.4	38	27.9	12	5.3	70	28.3	33	12.3	296	21.0
合 計	132	100.0	136	100.0	112	100.0	148	100.0	136	100.0	227	100.0	247	100.0	269	100.0	1,407	100.0

文化会館自主事業

(1) 弦楽教室の開催

・ヴァイオリンアンサンブル教室

練習期間 平成31年4月～令和2年3月 (延べ123回)
会場 赤穂市文化会館 リハーサル室 外
生徒数 小・中学生外 33名 (令和2年3月31日現在)
指導者 原田 芳彰、大塚 さえ子、山脇 洋子

・ヴィオラ・チェロ・コントラバス教室

練習期間 平成31年4月～令和2年3月 (延べ56回)
会場 赤穂市文化会館 楽屋 外
生徒数 中学生 3名 (令和2年3月31日現在)
指導者 原田 芳彰、大塚 さえ子、山脇 洋子

・修了式

期日 令和2年3月21日 (土) 14:00
会場 赤穂市文化会館 大ホール
参加者 ヴァイオリン教室 5期生～18期生
ヴィオラ・チェロ・コントラバス教室 1期生～2期生

(2) 吹奏楽教室の開催

ハーモニー吹奏楽教室

・金管道場コース

練習期間 平成31年4月～令和2年3月 (延べ4回)
会場 赤穂市文化会館 練習室 外
生徒数 大人 1名 (令和2年3月31日現在)
指導者 日生 貴之

・吹奏楽コース

練習期間 平成31年4月～令和2年3月 (延べ108回)
会場 赤穂市文化会館 練習室 外
生徒数 中学生～大人 13名 (令和2年3月31日現在)
指導者 森安 高廣

イベント 「赤穂市吹奏楽団第13回定期演奏会」

期日 令和元年11月10日 (日) 14:30開演
会場 赤穂市文化会館 大ホール
出演者 ハーモニー吹奏楽教室コース生徒、指導者外
演奏曲目 パガニーニの主題による幻想変奏曲、ヨークシャー・バラード、アパラチアン序曲 外

入場者数 295人

(3) 文化団体への文化会館利用助成

市内文化団体への文化会館利用助成

対象 14団体 助成金額 1,582,680円

芸術・文化の提供（文化会館事業）に関する事業

(1) 芸術等鑑賞、市民文化の振興と奨励事業の開催

自主事業名	開催日時・会場	内容（プログラム・演目・出演者等）
第24回今宵ひととき コンサート ムジカ オットーコン サート ～女声合唱の夕べ～	4月12日（金） 小ホール 開演18:30	<出演者> ムジカ オットー（ブルーデージー、チャン ティ・ママ、ラ・メールさこし、コール・ヴ イオレッテ、コーラスわかば、コーラスしお さい） <曲 目> 春のメドレー、春よ来い、さくら、慕情 外 <入場者数> 250人 <事業費> 91,488円
松竹大歌舞伎	4月14日（日） 大ホール 開演13:30	<出演者> 松本幸四郎改め二代目松本白鸚 市川染五郎改め十代目松本幸四郎 中村梅玉 外 <演 目> 「襲名披露口上」 「菅原伝授手習鑑」 「奴道成寺」 <入場者数> 907人 <事業費> 10,152,123円
ぶらっとフラットコン サート vol.98 「はたけの家」スプリ ングコンサート 4th	4月20日（土） 市民ロビー 開演19:00	<出演者> はたけの家 <曲 目> チェリー、春、三線の花、海の彼方に 外 <入場者数> 100人 <事業費> なし
ぶらっとフラットコン サート vol.99 Arrangement Concert on piano	4月27日（土） 市民ロビー 開演13:00	<出演者> 音路（NeRo） <曲 目> 太陽がいっぱい、サウンドオブミュージッ ク、シェルプールの雨傘、美女と野獣 外 <入場者数> 40人 <事業費> なし
赤穂寄席「昇太・たい 平二人会」	4月28日（日） 大ホール 開演14:00	<出演者> 春風亭昇太、林家たい平、春風亭昇りん 林家あずみ <演 目> 「転失気」 「今様替り目」 「三味線漫談」 「ストレスの海」 <入場者数> 855人 <事業費> 3,312,084円

自主事業名	開催日時・会場	内容 (プログラム・演目・出演者等)
<p>子ども芸術劇場 2019 おもしろミュージック スクール vol.. 25 「令和 ビューティフル・ハーモニー」</p>	<p>6月28日 (金) 大ホール 開演13:00</p>	<p><出演者> 構成・ピアノ：小林かずみ、編曲・ピアノ：小室弥須彦、クラリネット：金井信之、ホルン：村上哲、ヴァイオリン：後藤龍伸、チェロ：林裕、パーカッション：安永友昭、ソプラノ・司会：小林慶子、バリトン：菊田隼平 貞松・浜田バレエ団：廣岡奈美、水城卓哉</p> <p><内 容> 楽器紹介、バレエ、指揮者コーナー、みんなで歌おう 外</p> <p><曲 目> クライスラー「美しきロスマリン」、サン＝サーンス「瀕死の白鳥」、杉本竜一「ピリープ」 外</p> <p><入場者数> 484人</p> <p><事業費> 1,802,148円</p> <p><共 催> 赤穂市教育委員会 (小学5年生レクチャーコンサート)</p>
<p>吹奏楽・金管バンドの 祭典 2019 ～いい音(ね)♪聴かせて てプラスの仲間たち～</p>	<p>6月30日 (日) 大ホール 開演13:00</p>	<p><出演者> 赤穂中学校吹奏楽部、赤穂西中学校吹奏楽部、関西福祉大学吹奏楽団、赤穂プラスウィングズ、赤穂市吹奏楽団、塩屋小学校金管バンドクラブ、尾崎小学校金管バンドクラブ</p> <p><曲 目> 「木花之咲耶姫」、「J-BEST' 18」、「ミッションイン：ポッシブルのテーマ」 外</p> <p><入場者数> 977人</p> <p><事業費> 933,660円</p>
<p>姫路交響楽団 ファミリーコンサート 2019 in 赤穂 ～はじめてのオーケストラ～</p>	<p>7月15日 (月・祝) 大ホール 開演14:30</p>	<p><出演者> 姫路交響楽団、指揮：黒田洋</p> <p><曲 目> ショスタコーヴィチ：祝典序曲 イ長調 作品96、古関裕而：東京オリンピック(1964)マーチ、ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲集「四季」より 第1番ホ長調「春」、グリムカ：歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲、チャイコフスキー：幻想序曲「ロメオとジュリエット」 外</p> <p><入場者数> 511人</p> <p><事業費> 511,624円 (共催事業)</p>

自主事業名	開催日時・会場	内容（プログラム・演目・出演者等）
フェスタ・アルモニ カ・イン・アコウ 2019 ～合唱の祭典～	7月28日（日） 大ホール 開演13:00	<p><出演団体> ラ・メールさこし（赤穂市）、ハーモニーAi（相生市）、シング・ア・ソング（姫路市）、混声合唱団アミューズ（たつの市）、西はりま混声合唱団（太子町）、コーラスしおさい（赤穂市）、合同合唱 外 合計18団体</p> <p><ゲスト演奏> 歌楽「ペロ出しチョンマ」 バリトン：青木耕平 （神戸市混声合唱団副指揮者） 箏：片岡リサ、橋本桂子</p> <p><曲 目> ゆかいに歩けば、Ave Maria、やさしさのかげら、さびしいカシの木、アポロンの豎琴、あなたへのうた、Hallelujah（ハレルヤ）、大地讃頌 外</p> <p><入場者数> 697人 <事業費> 772,423円</p>
ぶらっとフラットコン サート vol. 100 「赤穂市ジュニアバン ド」デビューコンサー ト	8月29日（木） 市民ロビー 開演18:00	<p><出演者> 赤穂市ジュニアバンド</p> <p><ゲスト> 坂越小学校コーラス部</p> <p><曲 目> 美女と野獣、ボヘミアン・ラブソディ、さんば、希望と勇気、わたしは こねこ 外</p> <p><入場者数> 207人 <事業費> なし</p>
CRAZY KEN BAND TOUR PACIFIC 2019	11月4日（月・休） 大ホール 開演17:00	<p><出演者> CRAZY KEN BAND</p> <p><曲 目> 風洞実験、タイガー&ドラゴン、流星ドライブ～Chaser 外</p> <p><入場者数> 438人 <事業費> 9,485,957円</p>
木津川計の一人語り劇 場 「番町皿屋敷」異聞	11月9日（土） 小ホール 開演14:00	<p><出演者> 木津川計</p> <p><内 容> 「番町皿屋敷」異聞</p> <p><入場者数> 203人 <事業費> 216,439円（共催事業）</p>
県民芸術劇場 オーケストラと合唱の 楽しみ2019	11月17日（日） 大ホール 開演15:00	<p><出演者> 関西フィルハーモニー管弦楽団、ハーモニー合唱団</p> <p><指 揮> 藤岡幸夫</p> <p><曲 目> J.ウィリアムズ：「スター・ウォーズ」より“メインタイトル”、マーラー：アダージェット、ボロディン：交響詩「中央アジアの草原にて」、ホルスト：組曲「惑星」より“木星”、佐藤眞：混声合唱とオーケストラのた</p>

自主事業名	開催日時・会場	内容 (プログラム・演目・出演者等)		
		めのカウンタータ「土の歌」、ヘンデル：「メサイア」より“ハレルヤ”外 <入場者数> 951人 <事業費> 6,268,807円 [兵庫県芸術文化協会助成事業：直接助成 1,100,000円]		
華麗なるダンス 哀愁の歌声 アルゼンチンタンゴ 2019 ～進化を続ける情熱たち～	11月30日(土) 小ホール 開演15:00	<出演者> ダンサー：エンリケ&カロリーナ 演奏：LAST TANGO <曲目> ラ・クンパルシータ、リベルタンゴ、エル・チョコクロ、ガジョ・シエゴ、迷子の小鳥たち 外 <入場者数> 143人 <事業費> 389,849円 (共催事業)		
ぶらっとフラットコンサート vol.101 音なな時間 「Xmas コンサート」	12月22日(日) 市民ロビー 開演19:00	<出演者> DEAR+BLUE Kaoru、すず、おぐねえ、MELTING NOTES、ボンボヤーヤ <曲目> Christmas Time In Blue、月の舟、ルパン三世のテーマ、レモン、G線上のアリア 外 <入場者数> 76人 <事業費> なし		
三浦祐太朗 Live Tour 2020 “Blooming Hearts”	3月28日(土) 大ホール 開演15:00	<出演者> 三浦祐太朗 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度に延期開催予定。 <事業費> 1,884,762円 ※公演料前金、広告料、チラシ・ポスター 外		
赤穂市立学校部活動等支援事業	別記	<事業費> 416,570円		
共通経費	<事業費> 1,057,021円			
計	<入場者数> 6,839人			
	<事業費> 37,294,955円			
	入場料	市補助金等	民間補助金他	
	12,343,267円	21,061,932円	3,889,756円	

(注) 共催事業：アーティストの招聘元であるプロモーターが出演料等を負担し、財団が施設・付属設備使用料等を負担して共同主催により実施する公演

<友の会会員数> 330件 (令和2年3月31日現在)

※赤穂市立学校部活動等支援事業

ホール練習 期間 7月21日(日)・7月22日(月)・8月1日(木)

8月2日(金)・8月3日(土)

会場 赤穂市文化会館 大ホール

団体名 合唱：赤穂東中学校、塩屋小学校、尾崎小学校、坂越小学校

吹奏楽：赤穂中学校、赤穂西中学校

出場コンクール 合唱

・8月7日(水)

第86回NHK全国学校音楽コンクール

・12月26日(木)

MBSこども音楽コンクール

吹奏楽

・7月29日(月)

兵庫県吹奏楽コンクール西播磨地区大会

・8月8日(木)

第66回兵庫県吹奏楽コンクール兵庫県大会

・8月17日(土)

関西吹奏楽コンクール

(2) ル・ポン国際音楽祭2019赤穂・姫路(共催)

コンサート 期間 令和元年9月28日(土)～10月5日(土)

会場 赤穂市文化会館大ホール

9月28日(土)、10月1日(火)、10月2日(水)

赤穂城跡特設会場

9月29日(日)

関連行事 プリコンサート、ほのぼのコンサート、ロビーコンサート 外

赤穂市文化会館の管理運営に関する業務の収支決算書
(令和元年度分)

(単位:円)

収入

項目	予算	決算	差引	内訳
文化会館管理収入	78,820,000	77,637,748	1,182,252	文化会館管理収入
施設利用料収入	35,476,000	30,796,365	4,679,635	施設利用料収入
合計	114,296,000	108,434,113	5,861,887	

支出

項目	予算	決算	差引	内訳
人件費				
給料手当支出	11,463,000	11,205,087	257,913	職員給3人外
臨時雇賃金支出	6,681,000	6,595,068	85,932	臨時職員賃金4人分
福利厚生費支出	3,098,000	2,584,236	513,764	社会保険料外
小計	21,242,000	20,384,391	857,609	
物件費				
旅費交通費支出	36,000	25,080	10,920	旅費
消耗品費支出	875,447	875,447	0	施設管理用消耗品外
燃料費支出	90,000	63,980	26,020	ガソリン代外
会議費支出	2,000	0	2,000	
印刷製本費支出	95,000	61,120	33,880	使用許可申請書印刷
光熱水費支出	15,862,760	13,641,387	2,221,373	電気代外
修繕費支出	3,998,793	3,998,793	0	消防用設備修繕外
通信運搬費支出	278,000	239,745	38,255	電話料外
保険料支出	157,000	147,370	9,630	公立文化施設保険料外
手数料支出	5,000	0	5,000	
委託料支出	69,827,000	67,277,156	2,549,844	総合管理業務委託 26,735,520 舞台操作業務委託 19,392,993 舞台設備保守業務委託 8,909,800 建物管理業務委託外 12,238,843
使用料賃借料支出	1,668,000	1,579,244	88,756	下水道使用料外
消耗什器備品費支出	98,000	97,200	800	施設備品
負担金支出	56,000	43,200	12,800	公文協負担金外
雑費支出	5,000	0	5,000	
小計	93,054,000	88,049,722	5,004,278	
合計	114,296,000	108,434,113	5,861,887	

赤穂市文化会館指定管理者自主事業収支決算書
(令和元年度分)

(単位:円)

収入

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
芸術文化事業収入	19,412,000	16,280,582	3,131,418	文化会館事業収入
赤穂市補助金収入	27,198,000	23,291,793	3,906,207	文化会館自主事業補助金 20,321,932 文化団体助成補助金 1,582,680 教室事業補助金 1,387,181
赤穂市交付金収入(該当分)	740,000	740,000	0	赤穂市交付金
事業補助金収入	2,335,000	2,334,441	559	事業補助金収入
民間補助金収入	100,000	100,000	0	民間補助金収入
合 計	49,785,000	42,746,816	7,038,184	

支出

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
事業費				
給料手当支出	30,000	19,531	10,469	会場整理員外
臨時雇賃金支出	40,000	12,726	27,274	会場整理員賃金
旅費交通費支出	955,000	375,480	579,520	旅費
消耗品費支出	314,000	310,393	3,607	事業用消耗品
会議費支出	235,000	119,164	115,836	出演者ケータリング
印刷製本費支出	1,463,000	1,216,341	246,659	事業ポスター、チラシ印刷外
修繕費支出	30,000	29,700	300	ヴァイオリン修理
通信運搬費支出	488,000	425,635	62,365	郵便料外
広告料支出	970,000	895,360	74,640	事業広告掲載料
手数料支出	491,000	318,574	172,426	ピアノ調律外
委託料支出	29,940,000	27,382,396	2,557,604	自主事業業務委託
使用料賃借料支出	7,171,000	6,259,408	911,592	施設借上料外
諸謝金支出	4,569,000	3,707,000	862,000	出演謝礼外
負担金支出	2,968,000	1,599,680	1,368,320	文化団体助成 1,582,680 県吹奏楽連盟負担金外 17,000
租税公課支出	29,000	25,200	3,800	収入印紙代
雑費支出	92,000	50,228	41,772	諸雑費
合 計	49,785,000	42,746,816	7,038,184	

令和元年度 指定管理者管理運営事業評価シート

1 評価対象施設

公の施設の名称		赤穂市文化会館			
所在地		兵庫県赤穂市中広864番地			
指定管理者	団体名	(公財)赤穂市文化とみどり財団		開始日	平成30年4月1日
	所在地	赤穂市中広864番地		終了日	令和3年3月31日
選定方法	公 募 ・ 非公募		評価実施年	指定期間3年のうち2年目	
施設設置目的	本市における文化の振興と交流の場を市民に提供し、市民の自主的な文化活動の展開によって市民文化の向上を図ることを目的として赤穂市文化会館を設置する。				
主な実施事業	貸館業務・施設管理業務				

2 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	目標	H30	目標	R1	目標	R2
a 利用者数	人	126,000	115,020	126,000	95,173	126,000	
b 利用率	%	65	59.3	65	58.0	65	
c 受講者数							
d 参加者数							
e							

3 指定管理業務にかかる収支状況

区 分		平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度予算
収入計	A	158,956,853	151,180,929	162,174,000
指定管理料		76,353,977	77,637,748	79,130,000
利用料収入	C	36,170,535	30,796,365	35,461,000
自主事業収入		46,432,341	42,746,816	47,583,000
その他		—	—	—
支出計	B	158,956,853	151,180,929	162,174,000
事業費		112,524,512	108,434,113	114,591,000
内、人件費	D	20,209,494	20,384,391	20,853,000
内、再委託料	E	66,906,265	67,277,156	70,982,000
自主事業費		46,432,341	42,746,816	47,583,000
事業収入	A-B	0	0	0
利用率比率	C/A	23 %	20 %	22 %
人件費率	D/B	13 %	13 %	13 %
再委託費比率	E/B	42 %	45 %	44 %

・支出欄「D・E」は代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。
 ・事業費は、該当年度及び過年度決算を記入する。また、右欄には、次年度予算を記載する。

補足説明

4 事業評価

評価区分	評価項目	自己評価	所管評価	
① サービスの履行	人員体制	事業計画に則し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		事業計画に則し、計画的に研修等を実施している。	B	B
	法令順守	法令・条例等に基づき、必要な点検・報告を行っている。	A	A
	外部委託	外部委託に際し、適切に業者を選定し、業務指導を行っている。	A	A
	個人情報保護	個人情報保護に関する条例を順守し事故防止対策を講じている。	A	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書等に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	A	A
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	A	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	A	A
		市との連絡調整を適切に行い、情報の共有が図れている。	A	A
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	A	A
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	A	A
緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。		A	A	
財務状況	指定管理者の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	A	B	
総括	【業務の実施体制】に関する評価】	B	B	
② サービスの質	施設管理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	A
	利用者対応	利用許可、利用料金の徴収、減免等の受付業務を適切に行っている。	A	A
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	A	A
		言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	事業運営	事業計画に則し、必須事業を実施している。	A	A
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	A	A
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	維持管理	管理運営基準等に従い、施設の維持管理を適切に行っている。	A	A
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	A	A
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	A	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	A	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	A	A
		要望、苦情等を整理し、遅延なく市に報告している。	A	A
	事業評価	利用者アンケート調査を実施し、その結果を利用者等に公表している。	B	B
	提案事項	各種提案事項について、市と協議し、検討を行っている。	B	B
利用状況	利用者数等は、目標に対し妥当な水準である。	A	B	
総括	【業務の内容・水準】に関する評価】	A	A	
③ 安定性	経理事務	適切に経理事務を行っている。	A	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	A	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	A
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	A	B
	総括	「経費の収支等」に関する評価【標準4項目/本施設4項目】	A	B

所見 (成果、課題等)	【自己評価】		
	<p>地域の社会教育、文化・芸術活動の向上を目指し、地域社会の重要な拠点施設として、市民が主体的に文化活動に取り組むとともに、芸術・芸術鑑賞を享受できる場の提供に努めてきた。クラシックから歌舞伎、落語、演劇まで幅広いジャンルのイベントを提供することで、各世代に応じたジャンルの選択が可能となっている。</p> <p>今年度、自主事業「オーケストラと合唱の楽しみ」では、市民有志による合唱団を結成し、フルオーケストラとの共演による演奏会を開催することができた。まさに市民参加型の事業を実施することができ、参加者からは「こんな素晴らしい機会に恵まれ、とても感動的だった。」という感想も寄せられ、大好評を得た。今年度新たに、貸館利用者の催物状況を大型ディスプレイで提示する機器を導入するとともに、自主事業PR用のディスプレイを活用して積極的なイベント情報の発信を行った。今後も、日頃から市民ニーズの把握に努め、利用者の視点に立った利用者サービスの向上を継続していく。</p> <p>最近の会館入場者数は、2016年の116,996人をトップに、2019年は95,173人と減少傾向となっている。前年2018年の115,020人と比較しても約17%の減少となった。主な原因は、貸館利用者の減少と新型コロナウイルス感染拡大の影響による施設利用者のキャンセル、自主事業歌手コンサートの次年度への開催延期があげられる。</p> <p>施設面では、開館27年が経過し、施設・設備・備品の老朽化が目立っている。次年度、会館屋上の防水工事が予定されているが、利用者の要望等を的確に把握しながら、利用者の安全確保はもちろんのこと、常に利用しやすい環境となるよう計画的な改善が望まれる。</p>		
	【所管評価】		
	<p>適切な施設の維持管理に努めながら、社会教育、文化・芸術活動の向上に向けての拠点施設として大きな役割を担っている。</p> <p>令和元年度は、貸館利用者の減少等のため、来館者数は大きく減少となっている。令和2年度についても、新型コロナウイルスの影響から来館者数の減少が見込まれるが、利用者の安全確保に努めながら状況に応じて、貸館業務による交流の場の提供、幅広いジャンルのイベント等の開催などにより、市民文化の向上が図れるよう事業展開に努められたい。</p>		
前年評価	B	総合評価	B

※評価基準

A	優良	基協定書、仕様書、事業計画書等を遵守し、要求水準より優れている。
B	良好	協定書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
C	要改善	協定書等に定める要求水準を下まわっており、改善が必要と認められる。